

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成29年度首都圏3環状道路整備効果検討・検証業務
業務概要	本業務は、首都圏3環状道路が近年の開通により放射道路との相互接続が相次いでいる中、道路交通状況、企業活動（立地や物流等）、観光及びその他社会経済状況の変化等を分析し、整備効果の検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 大西 亘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契約年月日	平成29年6月5日
契約業者名	(株)オリエンタルコンサルタンツ埼玉事務所
契約業者の住所	埼玉県さいたま市中央区新中里4-14-17
契約金額	¥29,970,000円（税込み）
予定期格	¥29,991,600円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。(株)オリエンタルコンサルタンツは、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業務場所	関東地方整備局管内
業種区分	土木コンサルタント関係
履行期間（自）	平成29年6月6日
履行期間（至）	平成30年3月31日
備考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。